

平成25年度

中小企業労働事情実態調査結果

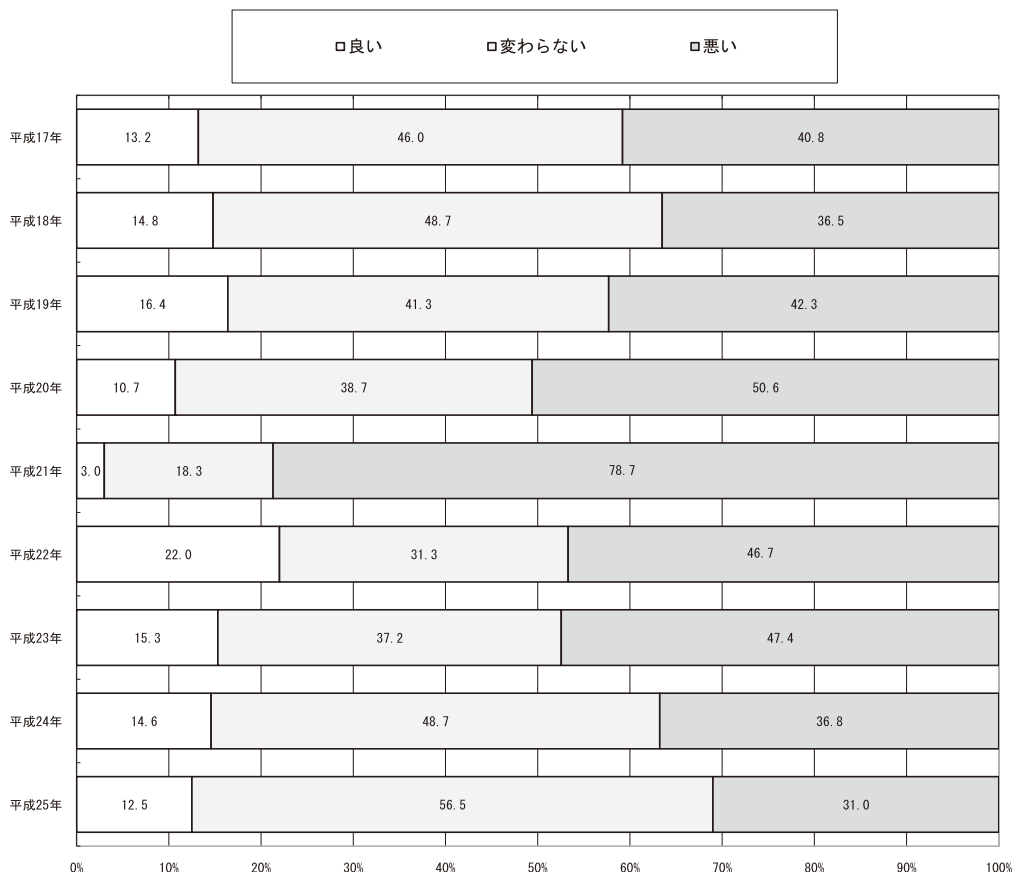
～高齢者の雇用状況～

「中小企業労働事情実態調査」は、毎年7月1日を調査時点として全国一斉に実施されており、このほどその集計がまとまりました。

本県では、製造業715社、非製造業585社の合計1,300社を対象に郵送調査を行い、528社（製造業261社、非製造業267社）から回答をいただきました。

本稿では、県内中小企業の経営状況のほか、「時間外労働の削減策」、「高齢者雇用」についてご紹介します。

経営状況（年度別）



1 経営状況

1年前と比べた経営状況について、「良い」とする事業所は、12・5％で、昨年（14・6％）より2・1ポイント減少した。また、「変わらない」とする事業所は56・5％

で、昨年（48・7％）より7・8ポイント増加した。
一方、「悪い」とする事業所の割合は31・0％で、昨年（36・8％）より5・8ポイント減少した。

経営上のあい路（過去5年間の上位5項目の推移 複数回答）

	1位	2位	3位	4位	5位	(%)
平成21年	販売不振 67.5	競争激化 35.5	製品価格の下落 22.9	人材不足 20.8	取引条件の厳しさ 19.4	
平成22年	販売不振 56.9	競争激化 52.5	製品価格の下落 27.1	取引条件の厳しさ 25.7	人材不足 24.5	
平成23年	販売不振 53.9	競争激化 44.0	原材料の高騰 31.8	人材不足 25.9	製品価格の下落 24.5	
平成24年	販売不振 45.5	競争激化 44.2	人材不足 27.5	製品価格の下落 25.5	原材料の高騰 24.9	
平成25年	販売不振 43.8	競争激化 41.3	原材料の高騰 32.9	人材不足 31.2	取引条件の厳しさ 21.9	

2 経営上のあい路

経営上のあい路については、「販売不振」が43・8%で第1位、「競争激化」が41・3%で第2位と5年連続して同じ順位となっており、「原材料の高騰」が32・9%で前年の5位から第3位に浮上した。次いで、「人材不足」31・2%、「取引条件の厳しさ」21・9%の順となっている。

り、「原材料の高騰」が32・9%で前年の5位から第3位に浮上した。次いで、「人材不足」31・2%、「取引条件の厳しさ」21・9%の順となっている。

時間外労働（残業・休日労働）の削減策

	回答事業所数	仕事のやり方の工夫・改善	時間管理職による徹底	働きやすい雰囲気	労働時間削減の話し合い	残業・休日労働の制限・設定	ノー残業デーの実施	定時退社や巡回呼びかけ	一定の実施の一斉	その他	(%)
全産業	329	86.0	36.2	28.0	14.6	12.2	11.9	0.3	1.5	2.4	
製造業 計	168	87.5	39.3	26.2	17.9	11.3	12.5		1.2	1.8	
非製造業 計	161	84.5	32.9	29.8	11.2	13.0	11.2	0.6	1.9	3.1	
1～9人	47	87.2	14.9	25.5	14.9	6.4	2.1		2.1	4.3	
10～29人	113	91.2	28.3	30.1	16.8	13.3	8.8		1.8		
30～99人	136	81.6	46.3	31.6	11.0	13.2	16.2		1.5	2.9	
100～300人	33	84.8	51.5	9.1	21.2	12.1	18.2	3.0		6.1	
《参考》全国計	11,409	83.5	34.5	24.9	18.5	10.9	11.9	1.6	1.6	2.2	

3 時間外労働の削減策

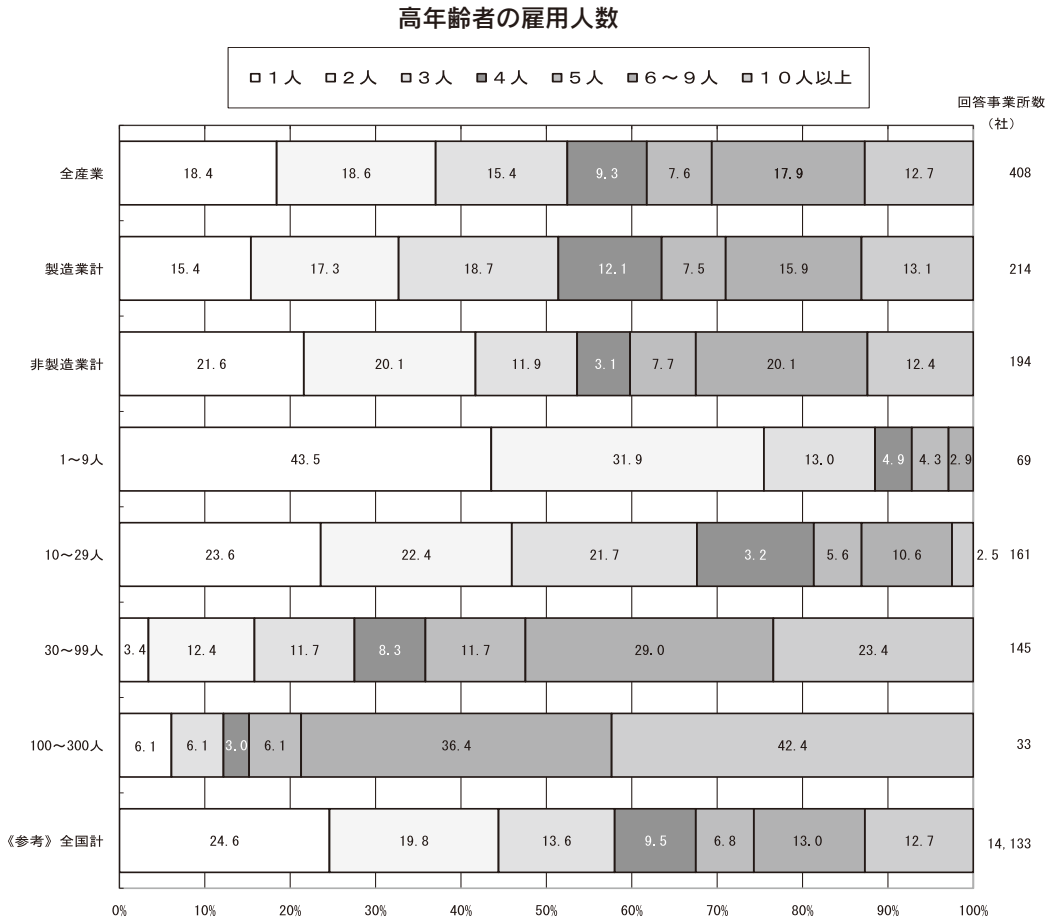
時間外労働（残業・休日労働）削減の取り組みを行っているところ、その削減策について尋ねたところ、全産業で「仕事のやり方の工夫・改善」が86・0%で最も多く、次いで「管理職による残業時間管理の徹底」36・2%、「働きやすい雰囲気づくり」28・0%の順となっている。

事のやり方の工夫・改善」が86・0%で最も多く、次いで「管理職による残業時間管理の徹底」36・2%、「働きやすい雰囲気づくり」28・0%の順となっている。

4 高齢者の雇用人数

60歳以上の高齢者を「雇用している」と回答した事業所に、その雇用人数を尋ねたところ、全産業で「2人」が18・6%と最も多

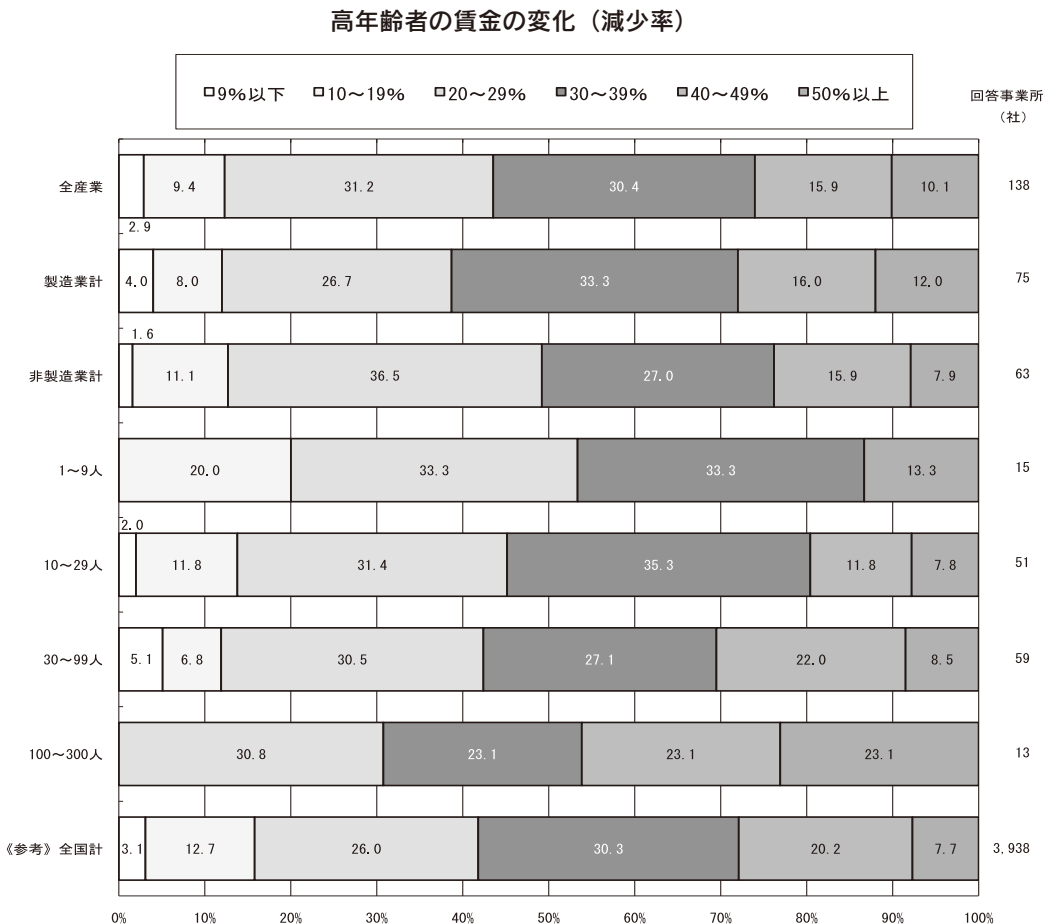
く、次いで「1人」18・4%、「6人」17・9%の順となっている。



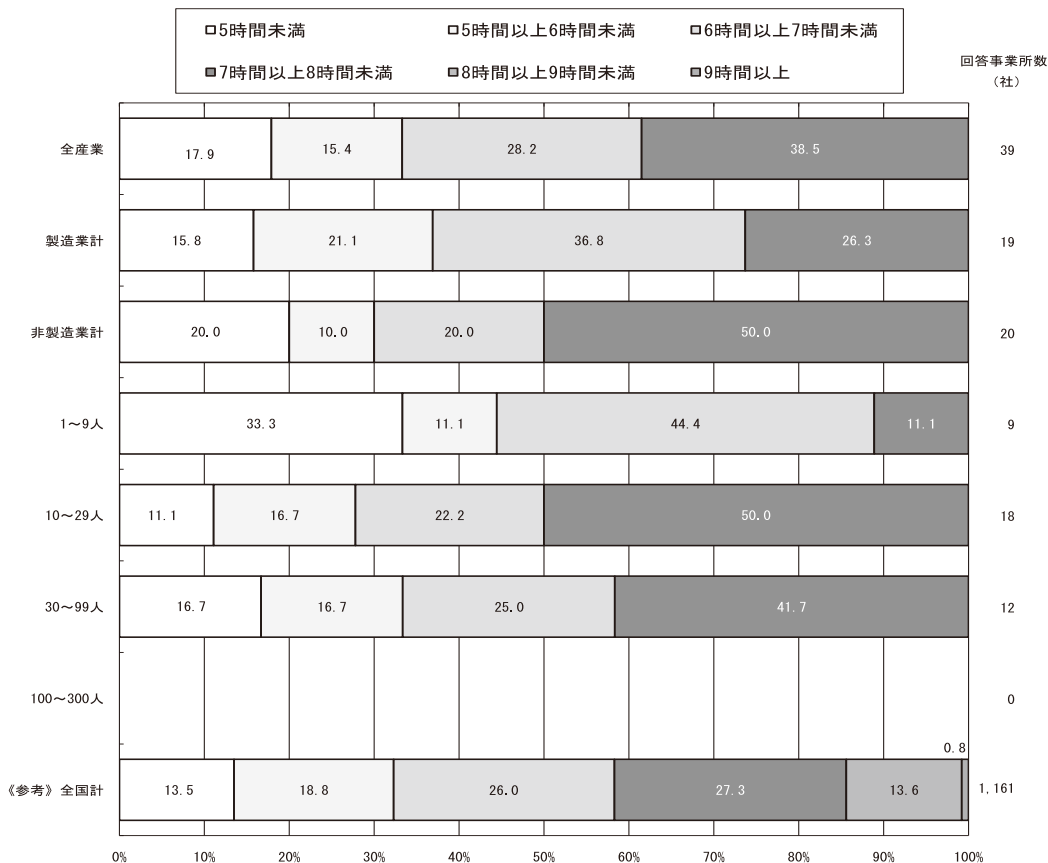
5 高齢者の賃金の変化（減少率）

労働時間・日数が変わらない場合の高齢者の賃金（基本給）が、60歳前と比べてどのくらい減少したかを尋ねたところ、全産業

で減少率「20～29%」が31・2%で最も多く、次いで減少率「30～39%」30・4%、減少率「40～49%」23・1%の順となっている。



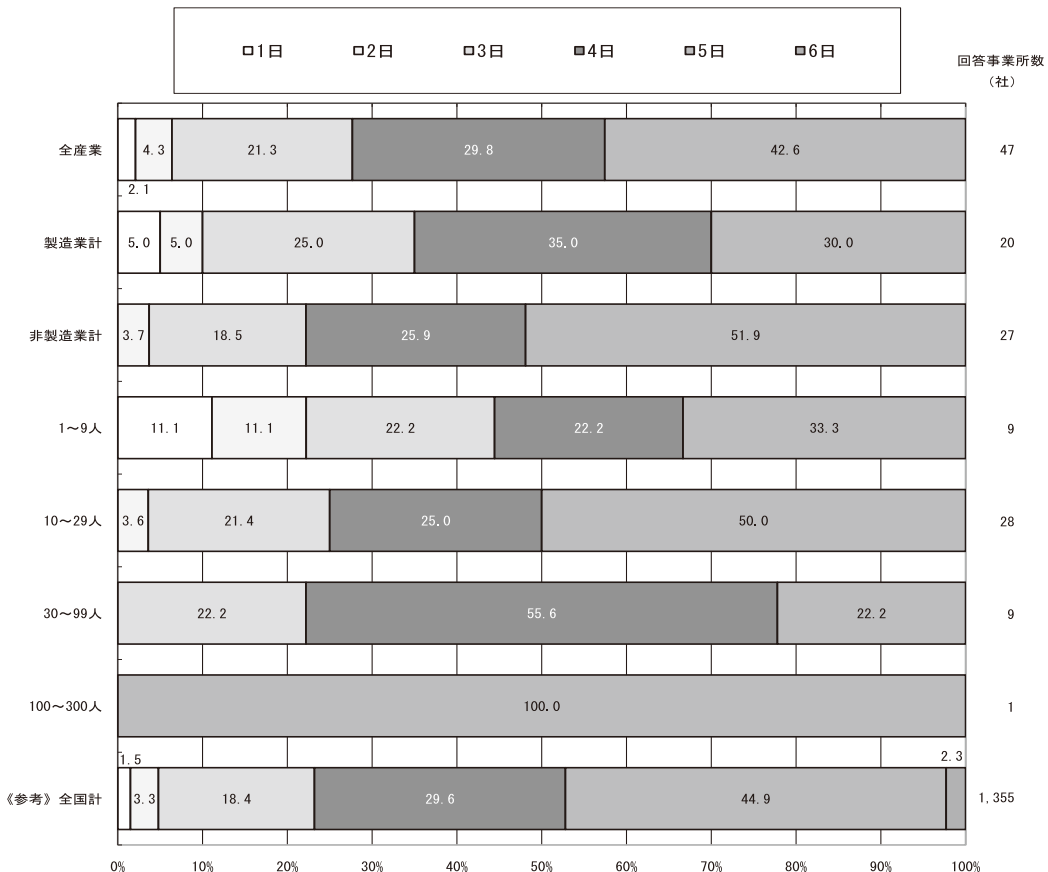
高齢者の1日の所定労働時間数



6 高齢者の1日の所定労働時間数
 高齢者の労働条件が変化し、「1日の所定労働時間」が「少なくなる」と回答した事業所に、高齢者の1日の所定労働時間数に

ついて尋ねたところ、全産業で「7時間以上8時間未満」が38・5%で最も多く、次いで「6時間以上7時間未満」28・2%、「5時間未満」17・9%の順となっている。

高齢者の週の所定労働日数



7 高齢者の週の所定労働日数
 高齢者の労働条件が変化し、「週の所定労働日数」が「少なくなる」と回答した事業所に、高齢者の週の所定労働日数につ

いて尋ねたところ、全産業で「5日」が42・6%で最も多く、次いで「4日」29・8%、「3日」21・3%の順となっている。